

FLS Series

AUDIA
FLIGHT

“We convey emotion”

AUDIA

1996年にイタリアで設立されたAUDIA社。

創設者のMassimiliano MarziとAndrea Nardiniは今日もAUDIA製品へ情熱を注ぎ続けています。

彼らが伝えたいのは音楽家の感情。時にはリスナーを鼓舞し、時には涙させるその音楽のエネルギーをそのまま伝えたい一心でAUDIA製品の開発を行ってきました。

より良い感情表現の為に創設以来こだわっている独自開発の電流フィードバック回路、徹底的に拘り抜いた電源回路等、そこには創設者二人の音楽に対する情熱が込められています。

made in Italy

100 1
0dB VOL



SPEAKER



PHASE



SPK

FLS1

Stereo Preamplifier



AUDIA伝統のハイスピード・広帯域フルバランス・デュアルモノラル設計

ゲインステージはデュアルモノラルのフルバランス純A級バイアス動作のAUDIA独自のカレントフィードバック回路を使用。

カレントミラーの出力側は直接ダブルエミッタフォロワステージに接続されており、再生帯域0.3Hz~500kHz (-3dB)、スルーレート100V/ μ SというAUDIAの特長であるハイスピード・広帯域の哲学をしっかりと受け継いでいます。

また、トランジスタもFLS1専用ベストな組み合わせが採用されており、ドライブ段ではバイポーラ、出力段では高バイアスMOSFETが採用され純A級動作となっています。

AUDIA伝統の強力電源供給

FLS1では電源供給用に3つのトランスが金属シールドに格納され、安定かつ強力な電源供給を行います。

108VAトランスがアナログ回路・アナログ増幅回路部・並びにヘッドホンアンプ用に使用され、30VAトランスがロジックボードとリレーに使用されています。そして3つ目の60VAトランスがデジタルオプションボード用に用意されています。

増幅回路のメイン電源供給はStrumento n1 mkIIのコンセプトが踏襲されており、各チャンネル20個の1500 μ F/63V超低ノイズ電源を採用。

コンデンサにはZL型のESR(等価直列抵抗)コンデンサが使用されており、それらの上には分厚いダンピングシートを設置。振動による音質悪化を防ぎます。

さらに、Strumento n1 mkII同様プリアンプとしては非常に高圧な \pm 50V駆動を出力回路に採用する事により、S/N感の改善やよりダイナミック感のある音楽を提供します。

超低ノイズボリューム機構

ボリューム調整には高音質のMUSES72320を使用。更にロジックボードとの通信を直接ではなくISO7330ガルバニックアイソレータを経由させる事により、ロジック回路とアナログ回路部を完全分離。ロジックボード内で使用されているオシレータ等の影響をアナログ部へ一切伝えない構造となっています。

フェーズコントロール機能

FLS1にはフェーズ(位相)の切替スイッチが標準装備されており、各入力毎に個別設定が可能。

音質維持の為、フェーズの反転はゲインステージの出力を単純に反転させるのではなく、フェーズコントロール専用基盤を使用しています。

その他の様々な技術と機能

- ボディはスイス製の高級アルミキャストを使用。CNC加工後にシャーシを手作業で研磨し、その後に最終表面加工を実施。美しい外観を実現。
- ゲインステージはデュアルモノラル回路を採用。
- 内部基盤は全て2mm厚のPCB基盤を使用しパターン部の銅材は一般的な厚みの約2倍に相当する70 μ 厚を使用。電子の流れを可能な限りスムーズにし高音質を維持。
- REC出力、ヘッドホン出力端子搭載。ヘッドホンアンプは出力段に2個の10,000 μ Fコンデンサを使用し、AUDIA独自のカレントフィードバックをヘッドホンアンプにも採用。
- MM/MCフォノボード・DACボード用スロット(後日発売)。



FLS1 仕様

入力: 3xアンバランスRCA + 2x バランスXLR
出力: 1x アンバランス RCA, 1xバランスXLR
1x アンバランスREC OUT

ゲイン幅: -90 dB ~+10 dB

ゲイン調整精度: 0.5 dB (-90~-30dBは1dB)

周波数特性 (1W rms -3dB): 0.3 Hz ~500kHz

スルーレート: > 100 V/ μ S

THD: < 0,05 %

S/N比: 110 dB

入力インピーダンス: 47K Ω

出力インピーダンス: 5 Ω

ヘッドホン出力/チャンネル: 12Wrms (8 Ω , 10Vrms時)

入力電源: AC (50-60Hz) 100V

スタンバイ消費電力: 1W以下

定格消費電力: 50W

本体寸法・重量: 450x120x380mm (wxhxd) - 11 Kg

発送時寸法・重量(箱含): 600x270x560mm (wxhxd) - 15 Kg

付属品: リモートコントロールユニット

電源ケーブル

色: シルバーまたはブラック

FLS4

Stereo Power Amplifier



注：日本国内仕様はスピーカ端子がFurutech製FT807となります

純A級動作のハイスピード・広帯域ゲインステージ

ゲインステージは純A級バイアス動作のAUDIA独自のカレントフィードバック回路を使用。

中でもカレントミラーの出力側は直接ダブルエミッタフォローステージに接続されており、160V/ μ Sという高いスルーレートを実現しています。更に、ゲインステージ基盤はアルミ製エンクロージャに格納されており、動作時温度を一定に維持。また、内部はエポキシ樹脂を充填し、振動から徹底的に保護。

また、FLS4は0.3Hz~700kHz(1W rms -3dB)と非常に広帯域かつ安定した動作を実現した回路構成となっており、AUDIAの特長であるハイスピード・広帯域の哲学をしっかりと受け継いでいます。

強力なドライブ・出力ステージ

ドライブステージおよび出力ステージはFLS4専用に最適化されたMOS-FET(電界効果トランジスタ)とバイポーラのコンビネーションで構成。出力ステージにはAB級動作の独自回路を搭載。更に2000VAのトロイダルトランスが使用され、エポキシ樹脂が充填された二重の電磁シールドケースに収納。

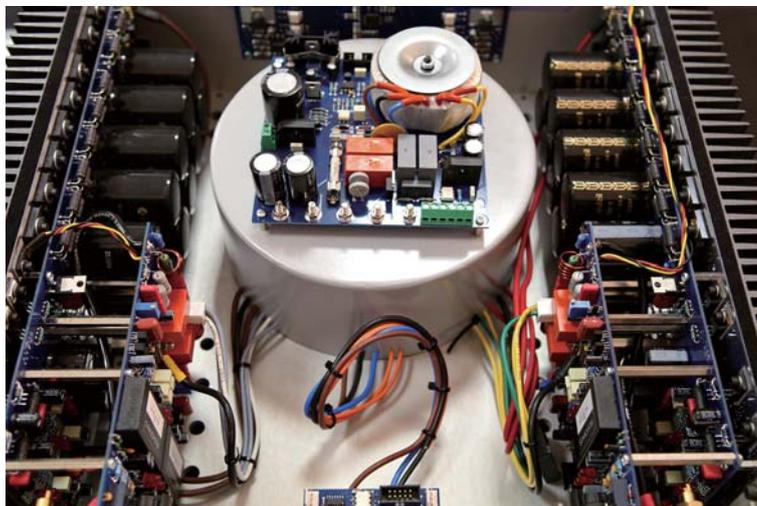
スピーカに対する優れた定電圧駆動能力とドライブ力の実現に貢献しています。(出力ステージは8パラレルブッシュプル構成)

AUDIA伝統の強力電源供給

FLS4のメイン供給電源は16個の18,000 μ F/50V超低インピーダンスコンデンサを使用し、更に各チャンネルの入力段・カレントフィードバック回路に合計4個の独立電源が装備されています。更にロジックボードと保護回路専用15VAのトロイダルトランスを使用し、音声信号経路を完全に電源に分けています。

その他の様々な技術と機能

- L/Rチャンネル完全ディスクリートバランス回路搭載。
- ボディはスイス製の高級アルミキャストを使用。CNC加工後にシャーシを手作業で研磨し、その後に最終表面加工を実施。美しい外観を実現。
- 音質劣化に繋がる為、電源部の出力段にはヒューズを一切使用せず、マイクロプロセッサで電流測定を行い電磁スイッチで制御。
- ゲインステージの電源供給は独自の超低ノイズ技術が採用され、超高速整流器や超低インピーダンスコンデンサを使用。
- 内部基盤は全て2mm厚のPCB基盤を使用しパターン部の銅材は一般的な厚みの約4倍に相当する130 μ 厚を使用。電子の流れを可能な限りスムーズにし高音質を維持。
- デュアルスピーカ端子搭載でバイワイヤ接続が可能。
- バイアンプ駆動対応XLR出力端子搭載。



FLS4 仕様

定格出力(チャンネル当り)Wrms:	8/4/2 ohm 200/400/700	ダンピングファクター(on 8 ohm):	> 1000
ゲイン:	29 dB	電源:	100VAC 50/60Hz
入力感度:	1.41 Vrms	スタンバイ時消費電力:	1W以下
周波数特性:	(1W rms -3dB) 0.3 Hz ~0.7MHz	定格消費電力:	170W
スルーレート:	> 160 V/ μ S	消費電力(200Wrms・8 Ω 負荷・両チャンネル駆動時):	840W
THD:	< 0,05 %	トリガー電圧:	5~12VDC
S/N比:	110 dB	寸法・重量:	450x177x440mm (wxhxd) - 34 Kg
入力インピーダンス(アンバランス):	7.5 K Ω	輸送時寸法・重量:	575x280x545mm (wxhxd) - 42 Kg
入力インピーダンス(バランス):	7.5 K Ω	付属品:	電源ケーブル
		色:	シルバーまたはブラック

FLS10

Stereo Integrated Power Amplifier



注：日本国内仕様はスピーカー端子がFurutech製FT807となります

純A級動作のハイスピード・広帯域フルバランス・デュアルモノラルゲインステージ

ゲインステージはデュアルモノラルのフルバランス純A級バイアス動作のAUDIA独自のカレントフィードバック回路を使用。カレントミラーの出力側は直接ダブルエミッタフォロワステージに接続されており、再生帯域0.3Hz~500kHz (-3dB)、スルーレート100V/ μ SというAUDIAの特長であるハイスピード・広帯域の哲学をしっかりと受け継いでいます。

AUDIA伝統の強力電源供給と強力なドライブ・出力ステージ

FLS10では12個の電源供給ユニットを搭載。常に安定かつ強力な電源供給を行います。出力ステージにはAB級動作の独自回路を搭載。更に2000VAのトロイダルトランスが使用され、エポキシ樹脂が充填された二重の電磁シールドケースに収納。ドライブステージおよび出力ステージに採用されたMOS-FET (電界効果トランジスタ)とバイポーラのコンビネーション構成との相乗効果によりスピーカに対する優れた定電圧駆動能力とドライブ力を実現しています。

超低ノイズボリューム機構

ボリューム調整には高音質のMUSE572320を使用。更にロジックボードとの通信を直接ではなくISO7330ガルバニックアイソレータを経由させる事により、ロジック回路とアナログ回路部を完全分離。ロジックボード内で使用されているオシレータ等の影響をアナログ部へ一切伝えない構造となっています。

フェーズコントロール機能

FLS10にはフェーズ (位相) の切替スイッチが標準装備されており、各入力毎に個別設定が可能。音質維持の為、フェーズの反転はゲインステージの出力を単純に反転させるのではなくフェーズコントロール専用基盤を使用しています。

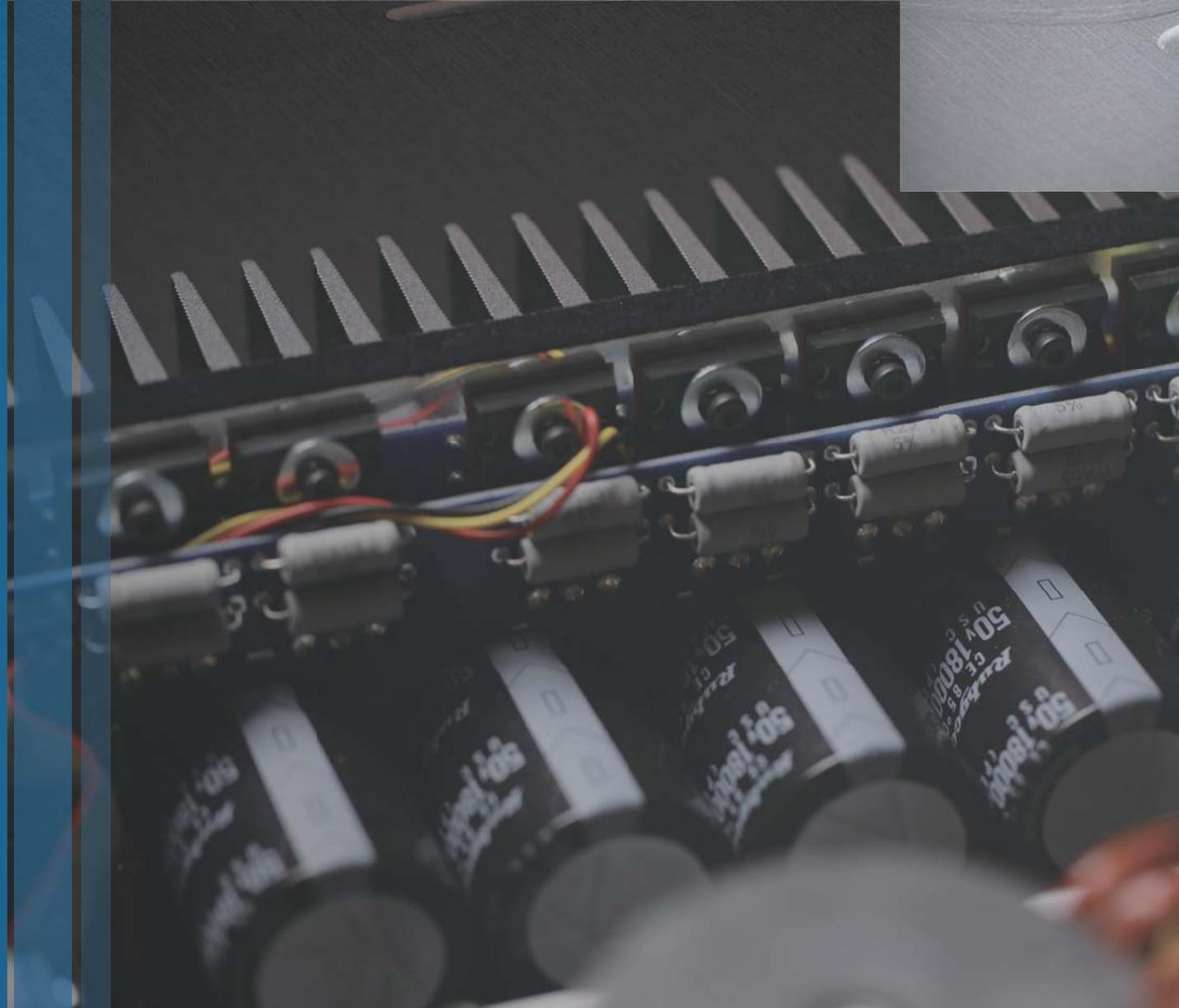
その他の様々な技術と機能

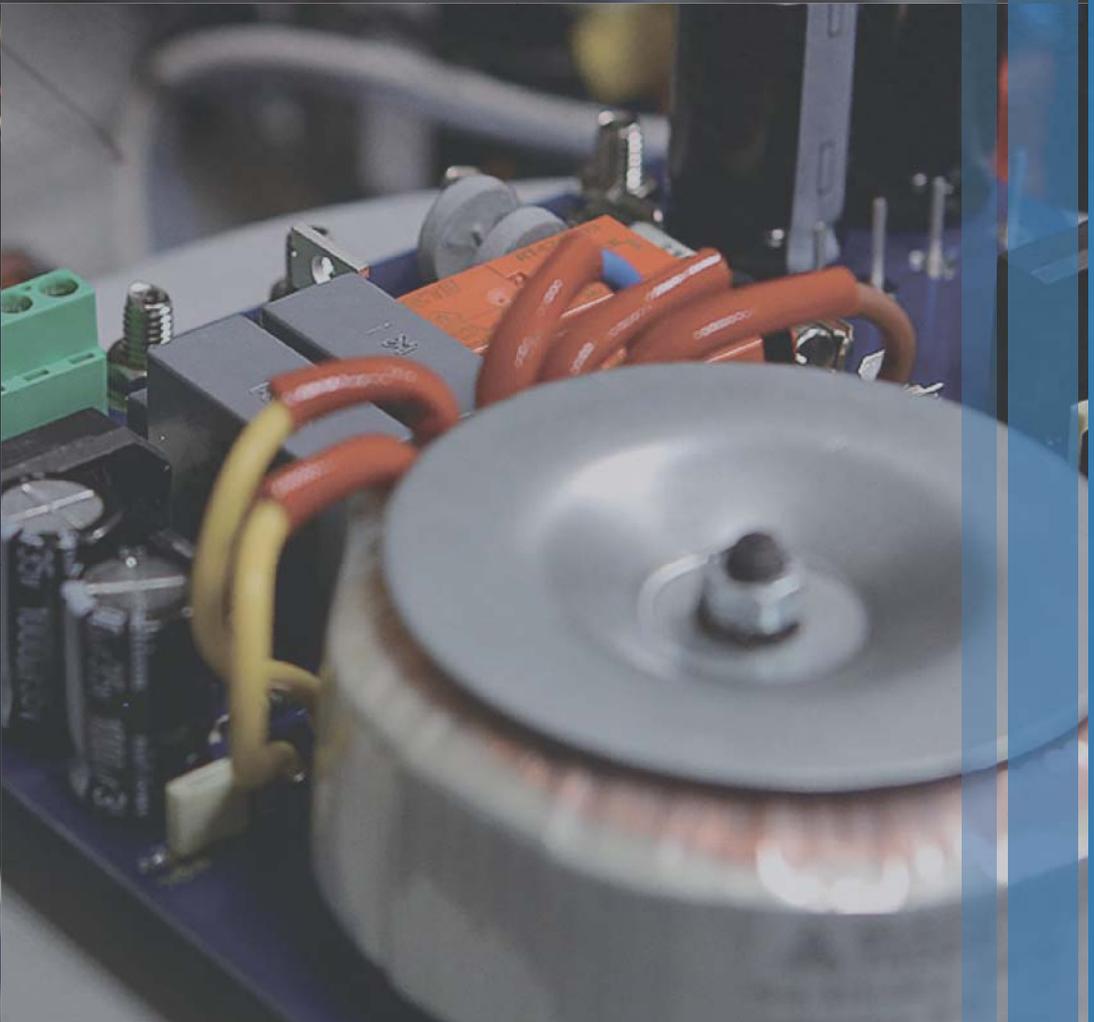
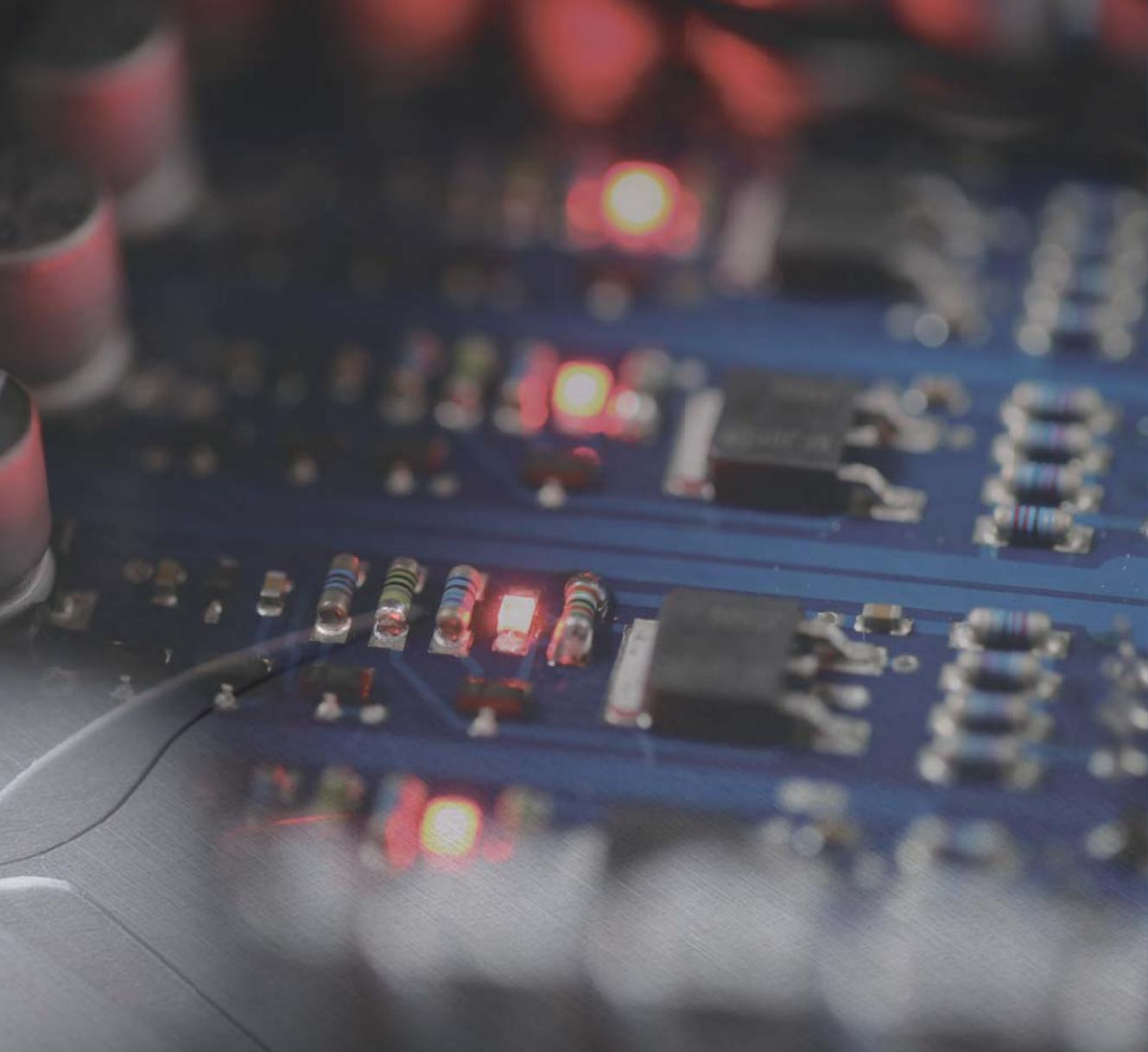
- ボディはスイス製の高級アルミキャストを使用。CNC加工後にシャーシを手作業で研磨し、その後に最終表面加工を実施。美しい外観を実現。
- メイン供給電源は16個の18,000 μ F/50V超低インピーダンスコンデンサを使用。
- 音質劣化に繋がる為、電源部の出力段にはヒューズを一切使用せず、マイクロプロセッサで電流測定を行い電磁スイッチで制御。
- ゲインステージの電源供給は独自の超低ノイズ技術が採用され、超高速整流器や超低インピーダンスコンデンサを使用。
- 内部基盤は全て2mm厚のPCB基盤を使用しパターン部の銅材は一般的な厚みの約4倍に相当する130 μ 厚を使用。電子の流れを可能な限りスムーズにし高音質を維持。
- デュアルスピーカ端子搭載でバイワイヤ接続が可能。
- バイアンプ駆動対応RCA/XLR出力端子搭載。
- MM/MCフォノボード・DACボード用スロット (後日発売)。



FLS10 仕様

定格出力 (チャンネル当り) Wrms:	8/4/2 ohm 200/380/700W	入力/出力仕様	
ゲイン:	30 dB	アンバランス入力:	x 3
周波数特性:	(1W rms -3dB) 0.3Hz ~ 500kHz	バランス入力:	x 2
スルーレート:	> 100 V/ μ S	アンバランス出力:	x 1
THD:	< 0,05 %	バランス出力:	x 1
S/N比:	110dB	REC出力:	x 1
入力インピーダンス:	47 Kohm	ヘッドホン出力:	x 1
ダンピングファクター (on 8 ohm):	> 650		
電源:	100VAC 50/60Hz		
スタンバイ時消費電力:	1W以下		
定格消費電力:	198W		
消費電力:	840W		
トリガー電圧:	5~12VDC		
寸法・重量:	450x180x440mm (wxhxd) - 36 Kg		
輸送時寸法・重量:	575x280x545mm (wxhxd) - 44 Kg		
付属品:	リモートコントローラ、電源ケーブル		
色:	シルバーまたはブラック		





eilex

総輸入販売元

アイレックス株式会社

〒185-0022 東京都国分寺市東元町3-6-13

Tel: 042-312-2887

Fax: 042-300-1175

<http://www.eilex.jp>

E-Mail: info@eilex.jp

2017年8月版
製品の外観・仕様は予告なく変更する場合があります